

愛隣館研修センターニュース 第58号

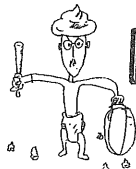
〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151 2F TEL 075-621-3849 FAX 075-621-1579

E-mail : Dayservicecenter.Airin@ma2.seikyuu.ne.jp 振替 01020-5-39321

編集発行所：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター 発行責任者：平田 義



「平和に向かってうんとこしょ！」



— 京都「2.11こども集会」報告 —

昨年(2002年)東京で「2.11こども集会」が開かれました。主催は、日本キリスト教団出版局「月刊教師の友」でした。ねらいは、この危機の時代にこどもと大人と一緒に平和を追求することにあります。予想を超える盛況でした。

「東京でできることは京都でもできる」集會に京都から参加した者たちは、「来年は京都でも」と意を決して帰ってきました。この願いを現実させた力は、鳥井新平さん、キムカンさんと愛隣館研修センターのみなさんでした。このチームワークなしに「2.11こども集会」は不可能でした。京都教区宣教部教育小委員会も一役かってくれました。



いざ、はじめよう!

平田義さん、キムカンさんを中心に実行委員会が結成され、具体的に動き出したのは今年1月になってからです。

集會名は「— 2.11こども集会—平和に向かってうんとこしょ」でした。11時から15時までです。集會は三部構成です。



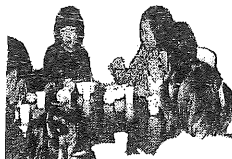
第一部は

鳥井新平さんリードの**歌とお話とゲーム**でした。歌は、日本はもちろん、台湾、ネパール、韓国とバラエティーに富んでいました。お話は、アイヌ民族と関係の深いふくろうやカラスにちなんだものでした。「アイブレイク」の名に相応しく集った人々の交流を一気に深めました。



新平ちゃんにかじりつき!

第二部は 昼食!



熱々でおいしいー!

メニューは、ぶた汁とチゲ(韓国の鍋料理)とおにぎり。用意した100人分はあっという間になくなりました。大好評でした。

忘れていました。会場は愛隣館研修センターとその台所でした。昼食担当の方たちにお礼申し上げます。

第三部は マダン(広場)劇

「平和に向かってうんとこしょ」でした。劇はロシア民話「大きなかぶ」にヒントを得たものです。

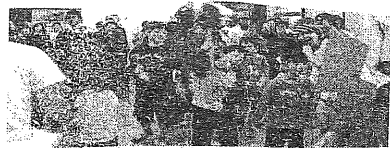


「大きなカブ」(カブ王国)は、アイヌ民族、琉球(沖縄)台湾、朝鮮(韓国)、インドネシアなど国内はもとよりアジアの人たちを不幸にしてみました。



カブ様あ〜!

その「大きなカブ」を力を合わせてみんなで抜こうというものでした。キムカン劇団(主に愛隣館研修センターのスタッフ)がリードする中、歌と笑いの中、「大きなカブ」はついに抜けました。



みんなで一緒にうんとこしょ!

ヒントは掛け声にありました。「平和に向かってうんとこしょ」に続いてアイヌ民族、琉球、台湾、韓国の人々の掛け声を重ねるとカブは抜けたのです。



集った人たち(こども40人、大人61人)がそれぞれの力を出して「大きなカブ」を抜いた時、会場の雰囲気は最高潮でした。カンさんの息子のスジ君もお母さんの背中でカブ抜きに協力していました。



おの背中気持ちええわあ

最後に...

こどもも大人も障がい者も外国人も力を合わせないと平和はこないものです。それを身体を通して具体的に体験した一日でした。来年もぜひ続けていきたいです。

(小柳伸顕)

大丈夫なんかいな？支援費制度！

この4月から障がい者を取りまく福祉が大きく変わります。支援費制度というものが始まるのです。国が発表する支援費制度の趣旨には次のように書かれてあります。

「支援費制度は、障がい者の自己決定を尊重し、利用者本位のサービスの提供を基本として、事業者等との対等な関係に基づき、障がい者自らがサービスを選択し、契約によりサービスを利用する仕組みであり…(中略)…障がい者の個人としての尊厳を重視した、福祉サービスの利用制度となることを目指す」とあります。まさしく、障がい者自身が主体的に生き方を決定できる仕組みができあがるように感じます。**騙されてはいけません！**

支援費制度に大きく方針を変えてきた国が考えている内実をよくよく眺めてみると、決して障がい者にとってすばらしい未来が開かれているとは言えないのです。そのとんでもない思惑を露呈したのが、昨年末から今年の始めにかけて相次いで発表された、「障がい者生活支援事業」の補助金打ち切りと、「ヘルパー派遣の上限設定」の問題でした。

様々な障がいを持つ人たちが、地域で生きていくためには、NPOによる介助は必要不可欠です。その1人1人の生活実態によって必要な介助の時間数は異なります。その時間数に、厚生労働省が上限を設定しようとしたのです。もちろん、全国の障がい者は、黙っていませんでした。連日500名超の人たちが、厚生労働省前にて座り込みを敢行し、「上限設定」を撤廃させました。

また、「施設」から「地域」へと福祉の大きな流れができつつある中、地域生活を営む上で様々な相談(社会資源の活用法等)を受ける「生活支援事業」は、今後の障がい者福祉の中心として厚生労働省も捉えていました。昨年8月の予算の概算要求の際には、事業費の上乗せ要求さえしていました。ところが12月には、一転して補助金打ち切りとなり、地方交付税に組み入れるという一般財源化の措置となってしまったのです。

これら二つの動きは、一体何を意味しているのでしょうか？「地域で生きていく障がい者のニーズ」よりも「戦争で使うお金」を大事にしたのです。「障がい者の命を守ること」よりも「イカやパシイの子どもの命を奪うこと」に、私たちの大事なお金を使うことに決めたといいても過言ではありません。厚生労働委員会の席上である官僚がはっきりと「国の方針が変わったのです」と答えたそうです。どこからどのように変わったのでしょうか？

もはやこの国は、人間として生きていくことをやめてしまったのでしょうか。

私たち1人1人が、国の方針がどうであろうと、今一度、人間として生きる道を選びとり、歩いていきたいものです。(平田)

第2回「医療・福祉・保健・教育のネットワーク京都」学習会報告

去る1月25日(土)、愛隣館研修センター2階に於いて、第2回「医療・福祉・保健・教育のネットワーク京都」学習会が行われました。今回も、京都府全域から、総勢60名の方がお集まり下さいました。

今回は、「医療的ケアについて」杉本健郎氏(関西医大男山病院)より講演を頂きました。

いわゆる重度の障がいのために、食べたり、飲み込んだり、呼吸をすることが困難な人たちがいます。その中には、鼻腔からのチューブで栄養を摂ったり、痰を機器で吸引することで、豊かな生活を送ることができる人たちがいます。これらの行為は、医師または看護師がする「医療行為」とは異なり、主治医の指示の下、家族が日常的に生活介護として行っていることで、「医療的ケア」と呼んでいます。

医学の発展に伴い、「医療的ケア」を必要とする人が増えています。その中で、ケアに取り組む人の輪が広がっているのは、本人の生活の質(QOL)が上がるからこそだといえるでしょう。

しかし、在宅医療はまだ不十分な環境なので、家族が介護を一手に担っているのが現状です。北欧のように、家族を支える実施体制が確立され、そして、なによりも、「医療的ケア」を必要とする人が快適に生活を送れることを、第一に考えなければならない、と杉本氏は訴えていました。



学習会の様子(越智Dr.です)

杉本氏は日本小児神経学会の立場からも、厚生労働省などに対し、「医療的ケア」についての要望を挙げています。厚生労働省でも、ALS(筋萎縮性側さく硬化症)の人に対して、ヘルパーが「医療的ケア」を実施できるような動きもあります。

「医療的ケア」を必要とする人がより良い生活を送れるような環境を、このネットワーク京都でも創っていききたいと、願っています。

(井桁)

支援センター「あいりん」の1コマ
 ピカピカピカピカピカ (電話が鳴っている！)
 オク「(今回はどんな相談やるか。神様、えい！)
 はい、支援センターあいりんです」
 榎「あの一ちょっと聞きたいんですけど、実は〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇なんですけど」
 オク「えーっと、(まいったなあ、これは…、でもなんとかしなあかんわ) これからいろいろ調べた後、折り返し電話しますのでよろしくお願ひします」

相談内容というのは、実に人それぞれ違うように内容も様々です。その場ですぐに解決するようなこともありますが大抵は、そうはいきません。ですから、相談者の立場に立って一緒にどのようにしたらいいのかを考えていこうと思っています。
 また、支援センターには同じ障がいを持った立場から相談に応じる「ピア(仲間、同じ背景をもつ人同士という意)カウンセラー」もいます。最近では、高齢者の方やいろいろな地域の方からも相談がありますが、障がいを持つ人だけでなく地域で自分らしく生活していく上で何らかの支援を必要としている人に応えていければと思っています。(太田)

「シサム」・パネル展 やいませす!!

場所: CO-OPメイター 福祉ショップコーナーの一角
日時: 2003年3月17(月)・18(火)・19(水)
 am10:00~pm13:00

私たちは向島の重症心身障がい者通所事業B型「シサム」です。「シサム」は、いわゆる重度の障がいを持つ人が通っている福祉施設です。


今回、CO-OPメイター内の福祉ショップコーナーの一角をお借りし、パネル展を企画いたしました。「シサム」のメンバーの様子を写真で紹介いたします。その中で、障がいを持つ人が身近に感じられる機会になればと思っております。

みなさま、ぜひお越しください。

連絡先：075-621-3849 (愛隣館研修センター内)

2003年1.2月の活動

1/17	支援セク-緊急会議	京都府下の相談事業を行う事業所が初めて一同に介しました
1/24	京都精神障がい者を守る会	大杉弁護士より、医療観察保護法案についてのお話をうかがう
1/25	医療と福祉と教育と保健のネットワーク京都	
2/7	生活支援連絡会	
2/11	2.11 子どもの集い「平和に向かってうんとこしょ」	
2/14-16	アにてィフォーラム in しが	パテルの話は発想の転換の切っ掛けになるよ！
2/18	レッグズ!	写真をどうぞ→
2/21	バリアフリーネットワーク	支援費制度 4月スタート! いったいどうなる!? 平田氏のお話
2/24	ぺこ餅の会	懐かしい味を楽しみました



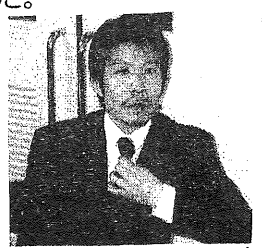
ごあいさつ...

こんにちわ! 恵大-郎です。この度、長年お世話になった愛隣館研修セク-から、同じ愛隣館内にある野の百合保育園に異動になりました。

思い起こすと、今から14年前、大学を卒業し晴れて社会人になった私でありましたが、実態はというと、H牧師兼所長にそそのかされ、“霞み”を食って生きていくしかない愛隣館研修セク-(当時は何の公的補助も頂いていなかった)の(H師を除けば)たった一人のスタッフでした。生活費を賄う為に、午前中は同一法人内の「ぶどうの木保育園」でアルバイトをさせてもらい、午後は午後で(ゴルフの打ちっ放しに行って帰ってこない)H師を待ち、セク-の留守番を(けな気に)しながら、学校の勉強になかなかついていけない子の補習塾をしたりしていました。

セク-の主な活動としては、“地域”の中で日常生活を営むのに何らかの弱りを覚えている方々が気軽に集え、悩み等を分かち合えるグループ作り(当時、『生活セク-』と呼んでいた)を中心に取り組みを進めていました。それが今、気がついてみると、ディサービスセク-や『遊隣』、重心通所『シサム』、生活支援セク-『あいりん』と様々な業を展開していくことができるようになり、たくさんの人たちの“輪”が広がっていきました。その中で多くの出会いによって気づかされ、心を動かされたことが、自分の現在持っている価値観のパ-スになっていきます。それは一言で表すと“一人一人を大切に”していくことだと思っています。これらからも、研修セク-で学ばせていただいたことを胸に、新しい仕事に取り組んでいきたいと思っています。

皆様、どうもありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしくお願ひします。

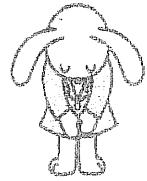


ご支援ありがとうございました

今後ともよろしくお願い致します



昨年度も多くの皆様に支えられて活動を続けていくことができました。
感謝を込めてお名前を載せさせていただきます。



愛隣館研修センター献金者

《月定会員》

明石邦子・安那芙美子・石橋紀子・宇都知加子・姥ヶ崎雅子・岡林拓美・奥間早登子・神戸萌子・河原崎美恵子・金子町子・加藤朋子・君村千代子・木村春江・木村美由紀・木村耕・北園由希子・岸佳津子・高下恭子・小北素子・信濃すゑを。塩谷幸代・下村知里・玉井勝也・谷岡妙子・高垣縁・内藤仙太郎・中西昌哉・永谷尚子・西岡景子・西村美枝子・林栄子・菱田万里子・引原勝美・藤田恭子・藤井美恵子・藤井幸子・堀尾勝世・松井知恵・三谷昭子・壬生輝子・南佑介・村上頌子・森弘・雄子・森多美枝・毛利元美・家形日出山崎悦子・山崎希充子・山下めぐみ

(49名 514,000 円)

《指定献金

《夏期特別、クリスマス、年会費》

匿名希望のA・秋山健・秋山眞一郎・網野一也・荒木啓子(2)・家西知加子(3)・石田正弘・石橋紀子(2)・石山寿子・一原真司・伊藤美恵子・今井晋・岩見祥司(2)・上田雄喜夫(2)・後宮昭子(2)・後宮俊夫・松代宇保春美・大森法子・小川範道・長田佐代子・侑奈(2)・織田健志朗・織田雪江・大串竜一・香川博司・蠣崎達也・蠣崎瑞恵・柿本真介(2)・梶尾美恵子(2)・加治木政子(2)・金子博・町子(2)・川上清樹・川尻良雄・川田よしみ・岸田典子・岸田康・北岡一道(2)・喜多将寛・明子

(2)・木俣努・木村雅代(2)・木村春江(2)・木村長記・木村量好・淳子・木村芽依・唯依・君村千代子・木本雅子(2)・木安透(2)・栗原展子・中田フミ・小泉真紀子(2)・近藤和江(2)・近藤喜美子・近藤孝子・小林京子・小柳玲子(3)・小山佳紘・五藤薫子(2)・斉藤麻(2)・佐伯敏雄・坂岡隆司・志賀勉・信濃すゑを(2)・清水充浩(2)・清水元介(2)・下野環(2)・静谷博子・ジュベ・マクウス・高津陽子(2)・高橋史子・高柳富夫(2)・滝口宣・竹内富久恵・全成光・竹下佳貴(2)・竹澤信夫・直子(2)・田村早千枝・塚本真喜子・土田佳奈(2)・土井淳平・富増献児(2)・内藤仙太郎・弘子(2)・中島淳・中島成和・永島美耶(2)・永島鉄雄・正人(2)・中西加代子(2)・中尾安次・中村敏一(2)・成田信義・由起・成瀬正代・西田和可子(2)・西田一成・丹羽克吉(2)・畑睦生・朴実・清子・原田恵美(2)・林川忠男・静江(2)・林下一範・林忠雄・栄子・平田哲・真貴子(2)・広瀬芳之・広瀬悦子・深田未来生・府上征三・藤井美恵子(2)・福田幾子・藤田恭子(2)・古川幸司・城行(2)・別宮巧イタ・前島宗甫・増田彰宏・真野晶・松井実・知恵・松井真理子・松岡匡宏・松藤由美子・黛共子(4)・三谷昭子(2)・溝口修造・智之(2)・宮本智美・宮本真希子(2)・無記名①・村山盛嗣・恵純子・恵ヒロ子・森島昌平・森田弘和・森田喜基・森弘・雄子(3)・家形日出(2)・安川真希・柳町裕子(2)・柳本

真太朗・美保・茜(2)・山川紗奈(2)・山口政紀・山田啓人・山本翔平・安野喜仁(2)・吉田雅美

(195口 1,283,594 円)

赤とんぼ(小中、宮坂、寺田、福田)・愛隣音楽センター・愛隣館・伊藤珠算教室(2)・大阪東十三教会・近江兄弟社学園・桜美林学園チャプレン室・大阪大道教会・小倉接骨院・軽井沢追分教会・京都YWCA・京都葵教会・京都重症心身障害児(者)を守る会・京都教会・京都丸太町教会・錦林教会・希望ヶ丘教会・神戸保育専門学院・こひつじ幼稚園(2)・坂出育愛館・手話サークル・真愛ホーム(2)・須磨教会・杉の子保育園・聖ヨゼフ整肢園・世光保育園・世光教会・膳所教会・滝川二の坂伝道所・(株)田中工務店(2)・丹波新生教会・高の原教会・田園江田幼稚園・桃陵乳児保育園・桃陵保育園・同志社女子中・高等学校・同志社教会・同志社高校宗教部・同志社女子大学宗教部長岡京教会ミモザ会・手話サークル野の百合・野方町教会・番町教会・一麦保育園・光の子保育園PTA・伏見区社会福祉協議会・ぶどうの木保育園・平安教会・南大阪教会・向日町教会・八幡ぶどうの木教会(2)・水瓶会(2)・ももやま福祉会・友愛幼児園・YMCA 福祉ボランティアクラブ (60口 865,733円)

2003年2月28日現在
敬称略

尚、記入に際しましては万全を期しておりますが万が一記載漏れがありましたらご一報ください。